

# ティール・ロウ・プライス キャピタル・アプリケーション・ファンド

Aコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし）  
追加型投信／海外／資産複合



## CAFレター第2号 足元で注目する投資機会

平素は、「ティール・ロウ・プライス キャピタル・アプリケーション・ファンド」（以下、当ファンド\*）をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。今回は、足元で注目する投資機会についてご報告いたします。

\*当資料において、AコースとBコースを総称して「当ファンド」といいます。

当ファンドは、個別企業分析に基づくボトム・アップ・アプローチを重視し、米国等の株式および債券を中心に投資を行います。今回は、**株式ポートフォリオ部分に焦点を当て、足元の注目分野や銘柄をご紹介します**。当ファンドは銘柄選定において、優れた経営陣を有すること、魅力的な利益成長が期待されること、合併・買収（M&A）される可能性があること、独自の成長機会を有することなどの要因に注目しています。これらの観点から、**今後5年間に於いて株価上昇が期待される銘柄を発掘**しています。



### 足元で注目する投資機会

#### 中小型バイオテクノロジー関連銘柄

医薬品業界は、今後約10年にわたり多くの製品が特許切れを迎え、ジェネリック（後発医薬品）やバイオシミュラー（バイオ後続品）への置き換えが本格化する見込みで、当運用チームは2026年がその初期段階であるとみています。こうした中、大手製薬会社が特許切れ製品による既存の売上高減少を自社開発の医薬品だけで補うことは容易ではなく、将来的な売上基盤を確保する手段として、必然的にM&Aに目を向けると当運用チームは予想しています。

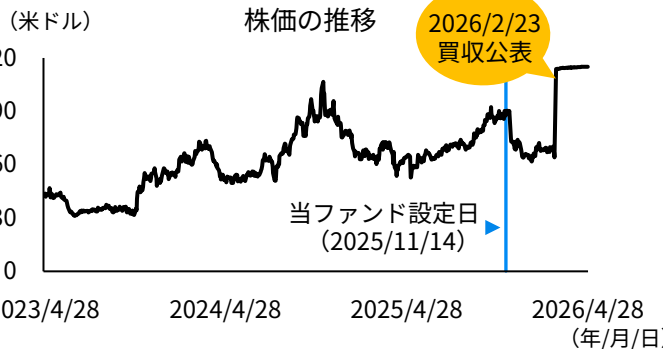
当ファンドは、開発リスクの低い新薬候補を有し、将来的に買収対象となる可能性が高いことに加え、優れた経営陣と巨大な医薬品市場に対応する高度な技術を備えた中小型バイオテクノロジー銘柄を発掘し、組み入れています。

数多くの医薬品が特許切れを迎える中、有望なバイオテクノロジー企業は被買収候補に

#### （ご参考：投資事例）アーセレックス

同社は、主にがんや難病向けの細胞治療薬の開発を手がけるバイオテクノロジー企業です。2026年2月、大手製薬会社のギリアド・サイエンシズは、同社を約80%のプレミアムで買収すると公表しました。

当運用チームは、当ファンド設定時から同社の株式を保有していたため、買収公表後に売却し、株価上昇の恩恵を享受しました。



注目銘柄：アセンディス・ファーマ、アルナイラム・ファーマシューティカルズ、アポジー・セラピューティクス等

出所：ファクトセットのデータをもとにティール・ロウ・プライスが作成。期間：2023年4月28日～2026年4月28日（日次）

・写真・画像はイメージです。

・上記は説明のために銘柄の一例をご紹介しますものです。したがって、個別銘柄・企業の推奨を目的とするものではなく、当社ファンドにおいて上記銘柄の組み入れまたは売却を示唆・保証するものではありません。

・上記は過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。



## 足元で注目する投資機会



エヌビディアの独占状態にある市場で  
代替手段の選択肢が広がる可能性

## AI向け半導体関連銘柄

ここ数年、エヌビディアは、画像処理半導体（GPU）に代表されるAI向け半導体分野でほぼ独占的な地位を占め、同分野では供給不足の状態が続いてきました。しかし、この状況は変化しつつあります。

足元、アルファベットの子会社グーグルが提供するTPUや、アドバンスト・マイクロ・デバイセズのMI450などの次世代半導体が極めて高い評価を得て、受注につながっています（以下参照）。今後数年のうちに、マイクロソフトなど他の企業からも次世代半導体が登場する可能性があるかと当運用チームは考えています。

AI向け半導体関連市場は、エヌビディアが支配する独占的な環境から、利用者が用途やコストに応じて複数の選択肢を選べる環境へと移行しつつあります。その結果、エヌビディアに集中していた収益機会についても、同社以外の企業が享受できる余地について広がる可能性があるかと当運用チームは考えています。

## TPU（テンソル・プロセッシング・ユニット）

グーグルが開発した、機械学習の計算に特化した特定用途向け集積回路（ASIC）です。低コストで高い実用性を有し、アンソロピックなどの企業が機械学習や推論処理に活用しています。

## MI450

アドバンスト・マイクロ・デバイセズが開発し、2026年後半より提供予定のAI向け半導体です。大規模なAIモデル学習や推論に対応できる処理能力を有し、オープンAIやオラクルなどの企業が導入を予定しています。

注目銘柄：ブロードコム、アドバンスト・マイクロ・デバイセズ、マイクロン・テクノロジー等



コロナ禍後の需要減速や  
トランプ政策による逆風が落ち着き  
安定成長への回帰が期待される

## ライフサイエンス機器関連銘柄

医療・創薬研究向けの分析・検査機器を取り扱うライフサイエンス関連業界は、コロナ禍において需要が急増した後、過去約3年間、需要は横ばいの状況が続いてきました。しかし、2026年には状況が変わり、再び安定した成長軌道（年率1桁台半ば）に回帰する年になると当運用チームは考えています。

ライフサイエンス機器の主要な顧客である大手製薬会社は、トランプ政権下での一連の合意を受けて、薬価や関税をめぐる不透明感が和らぎ、事業環境への見通しが改善しつつあります。また、大手製薬会社の設備投資や研究への大幅な支出削減は、収束に向かいつつあると当運用チームはみています。

さらに、医薬品製造の米国回帰（リショアリング）の加速、肥満治療薬の力強い成長、今後拡大が見込まれるバイオシミラー（バイオ後続品）、慢性疾患への新たな治療法や技術革新なども、同業界にとって追い風になると当運用チームは考えています。

注目銘柄：ベクトン・ディッキンソン、ウォーターズ、ダナハー等

- ・写真・画像はイメージです。
- ・上記は説明のために銘柄の一例をご紹介しますものです。したがって、個別銘柄・企業の推奨を目的とするものではなく、当社ファンドにおいて上記銘柄の組み入れまたは売却を示唆・保証するものではありません。
- ・上記は過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。



## ファンドの特色

1

ティー・ロウ・プライス キャピタル・アプリケーション・マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)への投資を通じて、米国等の企業の普通株式等を中心に、米国等の国債・社債等の債券(ハイ・イールド債券を含みます。)、短期金融資産等にも投資を行い、「ボトム・アップ・アプローチ\*」による分析結果や市場動向を考慮して各資産への資産配分比率を調整します。

\*ボトム・アップ・アプローチとは、アナリストの個別企業に対する調査や分析等に基づきその企業の投資価値を判断し、個別銘柄を選択する運用手法です。

2

資産毀損リスクの抑制を図りながら、長期的な資産の成長を目指します。

3

銘柄選択に関しては、個別企業分析に基づくボトム・アップ・アプローチを重視した運用を行います。個別企業分析にあたっては、ティー・ロウ・プライス\*のアナリストによる独自の企業調査情報を活用します。債券投資においては、発行体の信用力や金利動向等の金融・経済環境も総合的に勘案します。

\*委託会社およびその関連会社をいいます。

4

Aコースは、実質外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。

Bコースは、実質外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジを行いません。

※市場動向、資金動向、信託財産の規模等により、上記のような運用ができない場合があります。

※上記は当ファンドの主たる投資対象であるマザーファンドの特色を含みます。

## 投資リスク

### ■基準価額の変動要因

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動し、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。当ファンドが有する主なリスク(ファンドの主たる投資対象であるマザーファンドが有するリスクを含みます。)は以下の通りです。

### 株式投資リスク

当ファンドが投資対象とする株式(米国預託証券(ADR)等を含みます。)の価格は、発行企業の業績、市場での需給関係、政治・経済・社会情勢等の影響を受けて、ときには大きく変動します。発行企業が経営不安や倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなることもあります。

### 債券投資リスク

当ファンドが投資対象とする債券の価格は、一般的に、金利が上昇すると下落します。また、債券への投資に際しては、発行体の債務不履行等の信用リスクを伴います。信用リスクの高低の度合いは、一般的に債券の格付に反映されますが、ハイ・イールド債券等の格付の低い債券は、格付の高い債券と比較して、元利金の支払遅延および支払不履行などが生じるリスクが高くなり、債券価格に反映されます。

### 為替変動リスク

Aコースは、原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。また、為替ヘッジを行う際は、通貨間の金利差相当分のヘッジコストがかかる場合があり、ファンドの基準価額に影響します。

Bコースは、原則として対円での為替ヘッジを行わないため、為替変動の影響を直接受けます。したがって、為替相場が円高方向に進んだ場合は、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、為替相場は大きく変動する場合があります。

※基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。



お申込みメモ

購入時	購入単位	販売会社が定める単位とします。	購入時	信託期間	原則として無期限(設定日:2025年11月14日)	
	購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。		繰上償還	繰上償還	次のいずれかに該当する場合には、受託会社と合意の上、信託契約を解約し、当該信託を終了(繰上償還)することがあります。 ・各ファンドについて純資産総額が50億円を下回ることとなった場合 ・信託契約を解約することが受益者のため有利であると認める場合 ・信託契約を解約することに正当な理由がある場合
	購入代金	販売会社の定める期日までにお支払いください。			決算日	毎年3月24日(休業日の場合は翌営業日)
換金時	換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額とします。	収益分配		収益分配	年1回の決算時に、分配方針に基づいて分配を行います。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。 ※販売会社によっては、分配金の再投資が可能です。
	換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目からお申込みの販売会社でお支払いします。		信託金の限度額	信託金の限度額	各ファンドについて1兆円を上限とします。
申込について	申込締切時間	原則として、午後3時30分までに販売会社が受付けた分を当日のお申込み分とします。 ※販売会社によっては上記と異なる場合がありますので、詳しくは販売会社にお問い合わせください。	その他		公告	公告を行う場合は日本経済新聞に掲載します。
	換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、委託会社の判断により、別途制限を設ける場合があります。		運用報告書	毎年3月の決算時および償還時に、期中の運用経過などを記載した交付運用報告書を作成し、販売会社を通じて知れている受益者に対して提供・交付します。	
	購入・換金申込不可日	ニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行の休業日には、お申込みの受付は行いません。 ※スイッチングのお申込みの場合も同様です。		スイッチング	販売会社によっては、各ファンド間にてスイッチングが可能です。スイッチングの際には、通常の換金時と同様に税金がかかります。 ※スイッチングのお取扱いに関しては、販売会社へお問い合わせください。	
	購入・換金申込受付の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情等があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取消すことがあります。 ※スイッチングのお申込みの場合も同様です。 なお、主要投資対象市場の規模・流動性等を勘案し、購入のお申込みの受付を制限することがあります。		課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。一定の要件を満たした公募株式投資信託は、税法上、少額投資非課税制度「NISA(ニーサ)」の適用対象となります。当ファンドはNISAの「成長投資枠(特定非課税管理勘定)」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 配当控除の適用はありません。	

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		投資者が信託財産で間接的に負担する費用						
購入時手数料	購入時手数料は購入金額に応じて、以下の手数料率を購入価額に乗じた額になります。	運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に対し、 <b>年1.2375%(税抜1.125%)</b> の率を乗じた額が運用管理費用(信託報酬)として毎日計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期の最初の6か月終了日(休業日の場合は翌営業日とします。)および毎計算期末または信託終了のときにファンドから支払われます。					
	<table border="0"> <tr> <td>1億円未満</td> <td>3.30%(税抜3.0%)</td> </tr> <tr> <td>1億円以上3億円未満</td> <td>1.65%(税抜1.5%)</td> </tr> <tr> <td>3億円以上</td> <td>0.55%(税抜0.5%)</td> </tr> </table>		1億円未満	3.30%(税抜3.0%)	1億円以上3億円未満	1.65%(税抜1.5%)	3億円以上	0.55%(税抜0.5%)
1億円未満	3.30%(税抜3.0%)							
1億円以上3億円未満	1.65%(税抜1.5%)							
3億円以上	0.55%(税抜0.5%)							
信託財産留保額	ありません。	その他の費用・手数料	組入る有価証券の売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用等が、ファンドから支払われます。 ※運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することはできません。					

※上記の手数料・費用等の合計額等については、投資者のみなさまがファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。  
※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。



## 投資信託および当資料に関する留意事項

- 当資料は、ティー・ロウ・プライス・ジャパン株式会社が作成したお客様向け資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性あるいは完全性について保証するものではありません。
- 当資料における見解等は資料作成時点のものであり、将来事前の通知なしに変更されることがあります。また、当資料で示したデータ等は、情報提供を目的として掲載したものであり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。
- 投資信託は、値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、お客様の資産が当初の投資元本を割り込み損失が生じることがあります。
- ご購入の際は投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめまたは同時にお渡ししますので、必ずお受け取りのうえ、内容をよく読み、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は、預金や保険契約ではありません。また、預金保険機構や保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。購入金額については、元本および利回りの保証はありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただく投資信託は、投資者保護基金の支払対象ではありません。
- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- 著作権はティー・ロウ・プライスに帰属します。「T. ROWE PRICE」、「INVEST WITH CONFIDENCE」、大角羊（ビッグホーン・シープ）のデザイン等（troweprice.com/ip参照）は、ティー・ロウ・プライス・グループ・インクの商標です。その他全ての商標は、それぞれの所有者の所有財産です。ティー・ロウ・プライスと商標所有者との承認、出資、提携を示唆するものではありません。
- 当資料はティー・ロウ・プライス・ジャパン株式会社の書面による同意のない限り他に転載することはできません。

## 収益分配金に関する留意点

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

## 当資料で使用している指数・データについて

- 金融データと分析の提供はファクトセット。Copyright 2026 FactSet. すべての権利はファクトセットに帰属します。
- 表示桁未満の数値がある場合、原則として四捨五入しています。

## 販売会社・委託会社

お申込み・投資信託説明書（交付目論見書）のご請求は

**MIZUHO** みずほ証券

商号等：みずほ証券株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第94号  
加入協会：日本証券業協会／一般社団法人資産運用業協会／  
一般社団法人金融先物取引業協会／一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用は

 **T. Rowe Price**

商号等：ティー・ロウ・プライス・ジャパン株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第3043号  
加入協会：一般社団法人資産運用業協会／一般社団法人第二種金融商品取引業協会